

History and Culture

悠久の歴史と神仏のチカラ

永い年月を経てきたものに宿る
言い知れぬチカラ。その傍に
身を置くだけで何かが変わる！

Kinmon(Daisen-ji)



The ruins of Mukibanda

蒜山天空の郷 神話紀行

日本の始まりを伝える天孫降臨の伝説がある蒜山。岩倉山、天の岩戸、大蛇（おろち）、茅部神社など高天原伝説にまつわる場所もいろいろ。茅部神社参道にある、高さ13mもの巨大な明神型石鳥居は日本一の規模を誇っています。



米子の下町散策と中海遊覧

商都米子の、江戸時代から明治にかけての佇まいが残されている下町。旧加茂川沿いの白壁土蔵群、九のお寺が立ち並ぶ寺町界隈、重要文化財の後藤家。そして山陰随一の豪華を誇った米子城址などを巡るコースが人気です。また旧加茂川から中海へと巡る「加茂川・中海遊覧船」では爽快な水上散策・サンセットクルーズも楽しめます。



Nakami sunset cruise

大山寺のスピリチュアル スポットで癒される

「火神岳」と称され、また古くから山岳宗教の修験道場として永い歴史を持つ大山には、大神山神社奥宮、金門賽の河原と大岩、蒙門山ののろし台他、いわれのあ



The parade with torchlight

る巨岩や巨木、お地蔵様など、多くのスピリチュアル＆パワースポットが点在しています。毎年6月上旬に開催される「大山夏山開き祭」の壮観な「まつ行列」は必見！参加すれば感動も倍増です。

出雲神話のフシギ漂う美保関

森厳な空気に包まれた「えびす様」の総本社、美保神社。商売の神様「えびす様」は「事代主命」として「ぬしのみこと」としてもあり、出雲神話の故事に因んだ「青柴垣神事」と「諸手船神事」というふたつの伝統的行事は、見の価値があります。また、門前の「青石堂通り」は、北前船の風待ち港として栄えた往時の繁栄を今に伝えています。



Morotabune-sinji



- ◆青柴垣神事（あおひしがきしんじ） 毎年4月7日
- ◆諸手船神事（もろたぶねしんじ） 毎年12月3日

江戸時代の豪農の屋敷を訪ねる（大山町所子）

古くから豊穡の大地としてあった大山山麓。国の重要文化財、大庄屋の屋敷「門脇家」はまさにその名残りで、1769年に建てられた茅葺き屋根の温もりあふれるもの。春と秋には一般公開され、書画や生活用品など、江戸後期の生活様式をうかがえる貴重な資料が展示されます。



Kadowaki-ke

アートのチカラ

優れた才能をもって
全霊を注いで表された世界……。



植田正治写真美術館でアートの時間を愉しむ

旅の大きな楽しみは異空間、異文化に触れること。ここでは世界的写真家・植田正治の作品が季節ごとに展示替えされ、モダンムあふれるその作品が、日常とは異なる感動を与えてくれます。高松伸による外観、空間デザインも、比類ない心地よさと緊張感を演出しています。



Shoji Ueda Museum of Photography

水木ロード散策と水木しげる記念館

全国的にも話題の境港「妖怪ワンダーランド」。135体の妖怪たちのブロンズ像や、懐かしい雰囲気のリゾート沿いの店舗には、鬼太郎をはじめとした驚くようなキャラクターグッズもいっぱい。大人から子供まで楽しめる散策空間となっています。遊び心いっぱい、しかも文化的な香りのする「水木しげる記念館」の展示にも大満足すること間違いなし。
◆大人気のスタンプラリーやレンタサイクルを利用すれば、街の散策がより楽しいものに！境港観光案内所にお立ち寄りください。

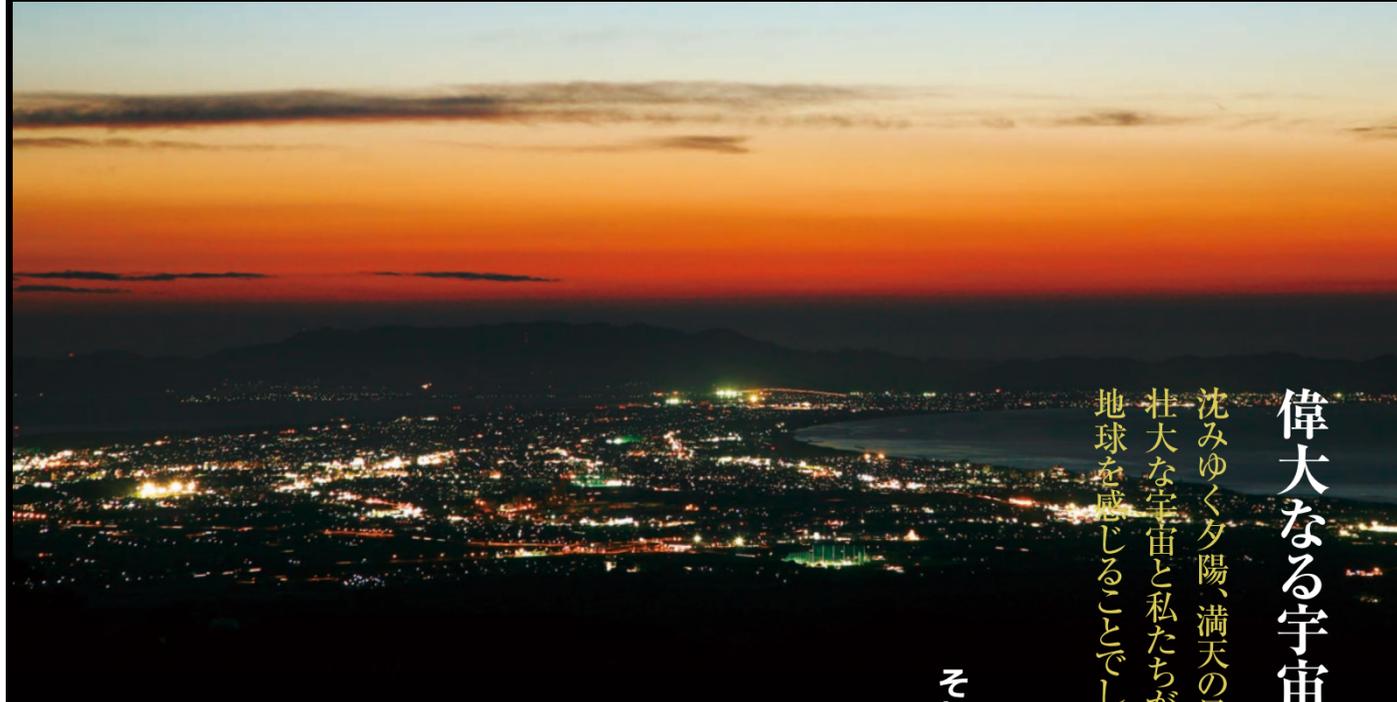


Mizuki-Shigeru road

協力/©水木プロ

偉大なる宇宙のチカラ

沈みゆく夕陽、満天の星を見上げると
壮大な宇宙と私たちが暮らす惑星、
地球を感じることでしよう！



Night View from Masumizu

壮大な夕陽と弓ヶ浜の夜景、そして空には満天の星

大山の「穴場的景観スポット」といえば、樹木高原の天空リフト展望台と、知る人ぞ知る丸山ハイランドタワー。出雲の国に沈む壮大な夕陽、米子市街や弓ヶ浜半島の夜景、さらに日本海に浮かぶ無数の漁り火、そして満天の星。天の川が手に取れるような近さに見えることも。外灯がなく澄んだ空気、広い視界……と、こんな条件が整うスポットは滅多にありません。
その他、各スキー場、みるくの里周辺、香取高原などはさながら「星の降る草原」。草原に寝ころぶと、まるで宇宙旅行をしたかのような気分。運がよければ、流れ星をいくつも見ることもできますよ。



春

3月

妖怪ひなまつり(境港)
大山環状道路の開通(榎水〜奥大山)

歳時記●スノーシーズン終了、ふきのとうなど山菜、コハクチョウの北帰行、山麓に菜の花

4月

各地で桜まつり
一式飾り(南部町)
青芝垣神事(4/7 美保関)
つつじまつり(米子)
妻木晩田遺跡・新緑まつり
門脇家住宅 春季一般公開
毛無山登山道開き祭(江府町)
大根島ぼたん祭スタート
スプリングフェスティバル(とっとり花回廊)

5月

日吉神社神幸神事(5/3 淀江)
藤まつり(大山町・住雲寺)
ツールド大山(大山町)
みくりやポートフェスティバル&さざえ祭(大山町)
バラまつり(とっとり花回廊)
美保基地航空祭(境港)
大山寺御輿行幸(大山町)
大山新茶まつり(大山町)
ゆったりウオーク(蒜山・最終土日)

6月

大山夏山開き祭(第1土日)
大山ペンション村まつり(伯耆町)
ミッドナイトフラワーガーデン スタート(とっとり花回廊)
妖怪そっくりコンテスト受付開始(境港)
大山王国 夏至祭
ユリまつり(とっとり花回廊)

7月

全日本トライアスロン皆生大会
各海水浴場の海開き
大山高原クロスカントリー大会
各地の夏祭りスタート
妖怪ジャズフェスティバル(境港)
みなと祭(境港)

8月

米子がいな祭、松江水郷祭、安来月の輪まつり
フェスティバル・ディア・マスミズ(榎水)
大宮踊(蒜山/国指定重要無形民俗文化財・お盆に開催)
大山夏祭り(大山寺/お盆の大献灯)
江尾十七夜(8/17 江府町)
オールジャパン・ジュニアトライアスロンin岸本(伯耆町)
加茂川まつり(米子/地藏盆)
ゲゲゲの鬼太郎ゲゲゲばし大会(境港)
境港妖怪検定申込み受付開始(境港)

9月

皆生・大山 SEA TO SUMMIT(9月上旬開催)
海の市・山の市(蒜山・9月最終日曜)
ベニズワイガニ漁解禁

10月

大助・花子の健康ウオーキング大会
大山まきば祭(伯耆町)
境港水産まつり
境港妖怪ウオーク
妻木晩田遺跡 秋麗まつり
風の祭り(蒜山)
サルビアフェスティバル(とっとり花回廊)
大山はまなすサイクリング
蒜山高原マラソン全国大会
いい夫婦登山(蒜山)
大山紅葉まつり(大山町)
大飯喰いフェスティバル(江府町・貝田地区)
大山ツリーストロフィー2days
城山フェスティバル・米子市民茶会(米子)
門脇家住宅 秋季一般公開(大山町/10月下旬〜)
森と清流の里ふれあい祭り(伯耆町)

11月

松葉ガニ漁解禁
妖怪川柳コンテスト受付(境港)
ゲゲゲのゲタ積み大会(境港)
柿の種吹きとばし大会(南部町)

12月

諸手船神事(12/3 美保関)
うそつきとうふの日(12/8 淀江)
フラワークリスマス(とっとり花回廊)
スキーシーズン到来 各スキー場開き

1月

とんど祭り
カニ感謝祭(境港)
仮装して滑走大会・
大山ホワイトウオーク(大山スキー場)

2月

らん祭り(とっとり花回廊)
奥大山SX CUP

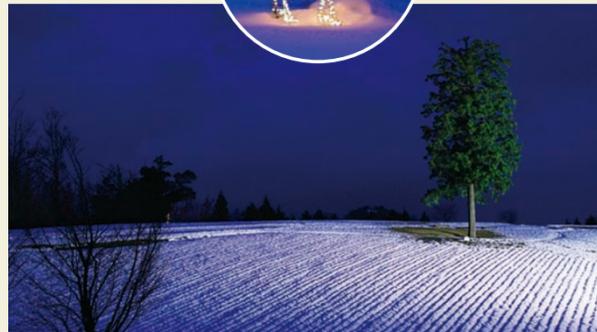


秋



歳時記●コハクチョウやオシドリなど飛来、大山に初冠雪、新そば、富有柿、寒ブリ、津田かぶ

冬



花や鳥たちのチカラ
サプリメントより、
もっと強力!
小さな生命たちが
もっている大きなチカラ。

とっとり花回廊で季節の花々を愛でる



Tottori Hana-kairo



Hiruzen Herb Garden

蒜山三座が一望できる絶好のロケーションにあるハーブガーデン。丘に広がる広大なガーデンでは美しき香り、味わいでハーブや山菜が楽しめるようさまざまな趣向が凝らされています。

大山を借景にデザインされた日本最大級のフラワーパーク内には、直径50mのフラワードーム、全長1kmの展望回廊、水上花壇やヨーロッパアンティークなどが配置され、年間を通して色とりどりの花が美しく咲き誇ります。繰り返し出かけたくなる「おき」のスポットです。

野鳥たちのサンクチュアリ、米子水鳥公園
コハクチョウの集団越冬地としては日本の南限といわれ、10月から3月にかけては数多くのコハクチョウや数十種類の水鳥が飛来し、日本国内で確認される鳥たちの4割もの種類が観察できます。



Yonago Waterfowl Park

美保関灯台ビュッフェで
隠岐諸島を見ながら寛ぐ
島根半島東端の美保関灯台は、1898年明治31年に建設された山陰最古の石造灯台。「世界歴史的灯台百選」にも選ばれていて、また灯台として全国初の国登録有形文化財にもなっています。その官舎を改装したビュッフェは日本海を見下ろし、遙かに隠岐諸島を望む絶景のスポット。

雄大な風景を楽しみながらの食事、テイタムはなんと贅沢なことでしょう。



Mihonoseki Lighthouse

高原を見渡すデッキで
ゆったりタイム
蒜山三座と高原の眺めが最高なのが「休暇村 蒜山高原」のロビーデッキ。広々とした空間とそのパノラマ風景に癒されます。他の施設にも同様な風景を楽しめるデッキなどが設置してありますよ!



Katori-village

美しい開拓村香取と分校
大山山麓の美しい開拓村「香取(かとり)」。北面中腹、標高350〜1000mに広がり、戦後、自然の地形や原生林を生かした計画的な村づくりが進められ、国内では珍しい公園的・牧歌的な風景の酪農地帯となっています。村の画に静かに佇むのが、さだまさしさんの歌「吾亦紅(われもこう)」のモチーフになった小さな香取分校。今は廃校となつていますが、初秋になると深紅の吾亦紅の花が咲きます。



Plateau Hiruzen

「場」の癒しのチカラ
不思議な
いつもとは違う「場」に
身を置くこと!
「旅」とはつまり、
そういうこと!!